

## 事業の基礎情報

実施主体	株式会社アイシン
事業実施地域	愛知県刈谷市
共創の種類	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の種類	こども・子育て ・ 教育・スポーツ・文化
共創パートナー	刈谷市、刈谷交通株式会社、中央コンサルタンツ株式会社
運行形態	タクシー
運行主体	刈谷交通株式会社

## 取組の概要

## (現状の地域課題と事業目的)

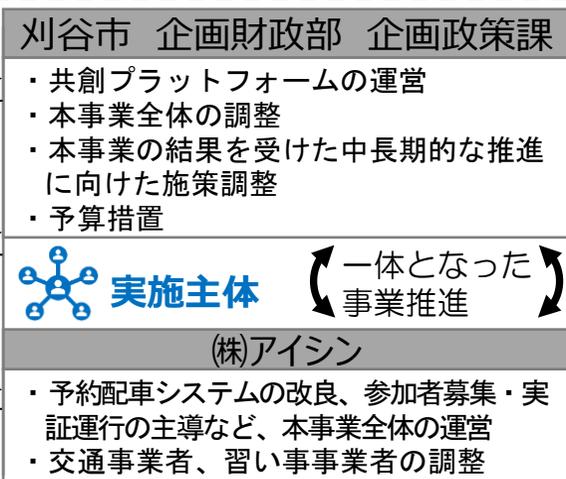
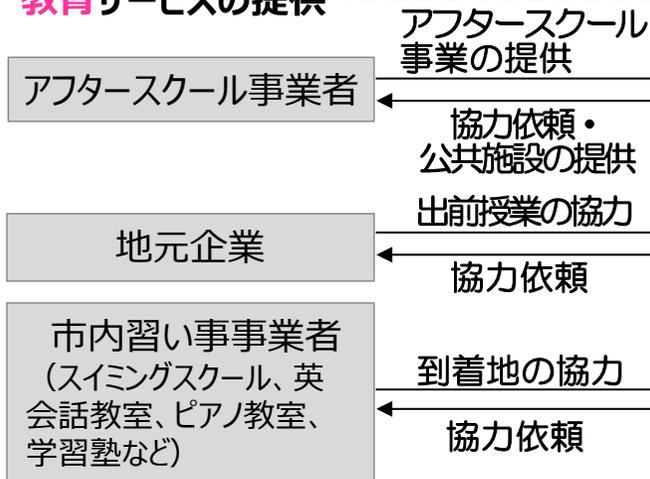
- 刈谷市では児童の93%が習い事を行っているが、利用できる公共交通が十分でなく、保護者の約8割は習い事先への送迎を負担に感じている他、現在の放課後児童クラブに加えて、より質の高い教育を受けさせたいニーズがある【参考資料1参照】。そのため、令和5年度に「教育×交通拠点（以下、「つながりステーション」）と子どもタクシーの一括したサービスを提供する実証運行」を無償で約1か月間行った。その結果、想定以上の利用がみられた【参考資料2、3参照】。
- 一方で、短期間の実証運行では習い事先への送迎ニーズが顕在化しなかった問題【参考資料4参照】や、予約配車システムについても改良が求められる状況である。また、事業の本格導入に向けては、一定額を徴収した中での実証運行の継続や、その結果から検討される事業スキームの構築が必要である【参考資料5参照】。
- そのため、今年度は、つながりステーションのさらなる魅力向上や交通サービスの効率化を図った実証運行を有料サービスで実施し、刈谷市の既存施策との連携・協調を図りながら、官民の共創で持続可能な事業体系を構築することを目的とする。

## (事業の概要)

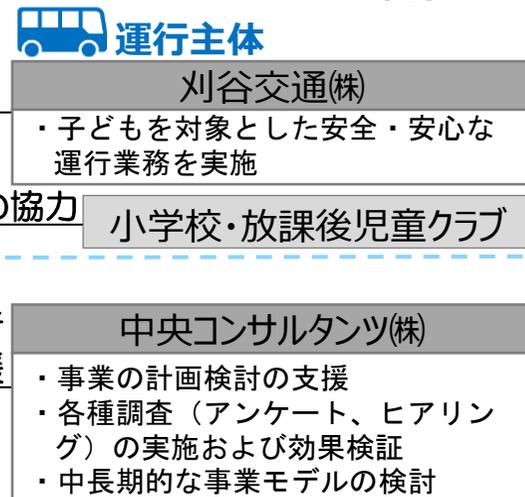
- 乗り合い送迎サービスのノウハウを持つ㈱アイシンと、刈谷市が主体となり、地元のタクシー事業者である刈谷交通㈱と、刈谷市の地域性を熟知した中央コンサルタンツ㈱がプラットフォームを結成し、アフタースクール事業者、地元企業、習い事先と連携・協働し、児童の放課後の教育（つながりステーション）と交通（子どもタクシー）の一括したサービスを提供する。

### 事業の全体像・共創の仕組み

#### 教育サービスの提供



#### 交通サービスの提供



### 取組の詳細

#### (地域の関係者との連携・協働)

- ・ 刈谷市は、放課後児童クラブを公共の直営で運営しているが、保護者からは「より質の高い教育を受けさせたい」という声が聞かれる。そのため、アフタースクール事業者と連携し、つながりステーションにおいて、宿題のサポートやプログラミング教室など、既存の放課後児童クラブではできない質の高い教育コンテンツを提供する。これにより、児童の放課後の選択肢の幅が広がるとともに、保護者のニーズにも対応可能となる。
- ・ 刈谷市は自動車関連企業が多く立地しており、地元企業の技術を活かした出前授業を実施することにより、刈谷市ならではの魅力ある教育コンテンツが提供可能である。また、地域で子どもを育てる機運の向上に繋がるとともに、従業員のエンゲージメントの向上にも資する取組となる。
- ・ 習い事事業者は、保護者の送迎が要因となった退会や、低学年の習い事の時間が遅くなっている問題を抱えている。習い事事業者と事前から密に連携した取組を行うことで、これら問題が解決され、習い事の活性化に繋がる。さらに、習い事事業者からの協賛等も見込まれる。

#### (実証事業により見込まれる効果)

- ・ 令和5年度の1か月間の実証運行において、97%の児童は教育プログラムおよびタクシー乗車が楽しかったと回答しており、80%の保護者は送迎の負担が減ったと回答している。今年度においても同様の効果が期待され、複数月で実施することで効果は大きくなると見込まれる。【参考資料6参照】
- ・ タクシー事業者は、配車数が少ない時間帯の新たな需要が創出され、配車数分の増収が見込まれる。(令和5年度の実証は283回)【参考資料7参照】

### 取組の詳細

#### (事業実施手順・スケジュール)

- 令和5年度の実証実験の結果や今後の本格導入を見据え、課題である**教育と交通の一括したサービスの有料化**に係る準備を行い、11月～1月に実証運行を行う。

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 実証運行準備		← 価格設定・支払い制度の検討 →									
<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスの有料化検討</li> <li>つながりSTの魅力化検討</li> <li>予約配車システムの改善</li> </ul>		← 習い事事業者・地元企業との連携 →									
		← 予約配車システムの改善 →									
2. 実証運行							← 実証運行 →				
3. 調査・分析・効果検証			← 調査内容の検討・準備 →			← 調査 →			← 分析・効果検証 →		
4. 事業スキームの検討・構築			← 事業スキームの検討・庁内協議・構築 →								
5. 実績報告										●	
6. 刈谷市都市交通協議会		◆	◆		◆						◆

#### (補助事業実施後の予定)

- 本実証運行の結果および庁内調整を踏まえ、下記の支出・収入の関係性を念頭に、**持続可能な事業スキームの構築**を検討する。
- ⇒支出面：配車予約システムの改善や、運営の合理化を図る。
- ⇒収入面：有料サービスでの利用状況を確認し、感度の高い収入試算を実施する。  
教育コンテンツの魅力化や、習い事事業者、地元企業からの協賛募集を検討する。

- 将来的に、本事業は市内全域への展開を検討しているが、刈谷市は大きく3つの地域に分かれており、まずは、比較的人口集積が高く、習い事先も多く分布している「中部地域」において、継続的な実証運行を行う予定である。

	支出	収入
移動	車両運行費	自治体財政支出
	システム運営費	利用者の利用料 (拠点・移動支援)
拠点	拠点運営費	習い事事業者の協賛金
	会場費	地元企業からの協賛金

#### 1. 実証運行準備 (実施主体: ㈱アイシン、刈谷市)

- 令和5年度の実証運行の結果および本格運用に向け、予約・配車システムの改良を図る。
- 教育・交通サービス別、期間別の利用料金や、円滑な支払い方を検討する。
- つながりステーションのさらなる魅力化に向け、習い事事業者や地元企業に対して、個別に協議を行い、本事業への協力・協賛を獲得する。
- 習い事先への送迎ニーズの顕在化に向け、実験について早期に参加希望者へ広報・周知を行う。

#### 2. 実証運行 (実施主体: ㈱アイシン、刈谷交通㈱、刈谷市)

#### 3. 調査・分析・効果検証 (実施主体: 中央コンサルタンツ㈱、㈱アイシン)

- 下記の調査を実施し、サービス供給側・需要側の両面から効果を検証する。
  - 実証運行の利用者（小学生・保護者）アンケート調査
  - 実証運行の教育・交通サービスの提供者へのヒアリング調査
  - 習い事事業者・地元企業へのヒアリング調査

#### 4. 事業スキームの検討・構築 (実施主体: 刈谷市、㈱アイシン、中央コンサルタンツ㈱)

- 事業の本格導入を見据え、刈谷市の既存施策と連携・協調し、放課後の持続可能かつ教育・交通の一括のサービス提供を行う事業スキームの構築を行う。
- 事業スキームの構築にあたっては、庁内関連部署と協議・調整を行うとともに、地元企業や地元人材も巻き込んだサービス設計を検討する。

#### 6. 刈谷市都市交通協議会 (実施主体: 刈谷市)

- 法定協議会である刈谷市都市交通協議会に随時報告を行い、次年度以降のスムーズな合意形成に努める。